

すぎちゅうがっこう せいとしどうつうしん
杉中学校 生徒指導通信

進木

進木【すぎ】・・・「杉」の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



2022年6月7日(火) 発行

何事を成すには「準備行動」が大切です。

6月に入りました。5月末から25～30℃の夏日が始まり、暑い日が到来しつつも朝晩は気温が下がり、1日の気温差が大きくまだまだ春の様子を感じることができました。そんな春も6月に入るといよいよ梅雨の時期を迎え、梅雨が明けると湿気の高いジメジメとした夏の季節が到来します。最近では関西地域をはじめ、全国各地の小中学校にて、体育時や学校行事中に多数の生徒が熱中症によって緊急搬送されたニュースが報道されています。新型コロナウイルスとの生活も約3年が経ちました。正しく恐れ、正しく対応した生活を一人一人が心がけていきましょう。

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

目録 2m以上

就学児について (小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面

- 屋外**
 - 人との距離が確保できる場合
 - 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞ 離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び
 - ＜例＞ 屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)
- 屋内**
 - 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
 - ＜例＞ 個人で行う読書や調べ学習

学校生活 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際 ※運動部活動において競技を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう ※運動場以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

さて、本題ですが、タイトルにもあるようにみなさんは「準備行動」の重要性について考えたことがありますか？何か運動をするときや楽器を弾いたり、絵を描いたり、歌を歌うとき、または定期テストを受けるときには無意識のうちに、当たり前のように「準備行動」をしていると思います。ではなぜ、「準備行動」をするのでしょうか。この質問に対する回答も当たり前ですが、これから行動することが成功する(失敗しない)ため、成長する(無意味な時間を過ごさない)ためであると思います。学者や芸術家、スポーツ選手など過去の偉人も「準備行動」の大切さに関する名言を残しています。ではこの「準備行動」をみなさんの学校生活にあてはめて考えてみてください。今すぐに行える「準備行動」はありませんか？「準備行動」を意識し、実行することで何事を成せる成功や成長、またはそれに近づく結果が得られるかもしれません。充実した学校生活を送るための「準備行動」を意識してみてください。そして、行動に移して結果に繋がらしましょう。

朝礼での話...

① 「公共物を大切にしよう」

公共物とは学校内外問わず、一人ではなく、多くの人々が共同で使用するものです。学校内というほとんどのものがそれにあたります。また、学校外でも同じです。信号やガードレール、公園の遊具、公衆トイレなど。みんなが気持ちよく使用できるために、一人一人の優しい心が大切です。モノやヒトを大切に思える人でいてください。

② 「登校時間を考えよう」

杉中学校は8:25の継続からスタートです。8:30に着席をしていればいいというものではないことをもう一度確認しておきます。なぜ、8:30から遅刻のチェックがつくのには8:25?と持っている人はいませんか。それはチャイム着席(チャイムがなり始める前に授業の準備をして着席)と同じ考え方です。「準備行動」が次の素晴らしい成功や成長につながります。50分間の授業を集中して受けられるように、1日の学校生活が充実したものになるために、「準備行動」ができていますか？自分の行動を振り返りましょう。

自習室で勉強しませんか？

6月15～17日にいよいよ期末テストが実施されます。1年生は初めてのテストですね。テスト初日の一週間前から部活動が停止となります。その時間を有効に活用できるように放課後、自習室を開設します。場所は管理棟4階の数学教室です。開室日を載せておきますので、よかったら参加してみてください。各学年での学習会も開催予定です。

【自習教室 開室日】
6/8 (金) 9 (木) 14 (火)
※10 (金)・13 (月)は各学年フロアで実施



最後に…とある歌手が歌うとある歌の歌詞の一文を紹介します。みなさんの心に響く一欠片(ひとかけら)になれば幸いです。

蹴り破ることができない壁はあっても
押し倒すことができない壁はあっても
見据えることができない壁はあっても
乗り越えることができない壁はなかった

